

令和6年度虐待をしないためのスピーチロック防止研修A 実施要項  
～DJポリスも学んだ相手の行動を変える言葉・態度を学ぶ～

1 目的	行動を制限する言葉を使ってしまったことはありませんか。スピーチロックを理解し、対人援助の専門職としてふさわしい言葉の使い方について学ぶことを目的として、本研修を開催します。 ※スピーチロックとは…言葉による拘束のこと。相手の行動を制限する言葉や声掛けをすること。
2 研修形態	集合型研修 ※研修日程のとおり
3 開催日時	令和6年5月22日（水） 9：50～16：00（5時間） ※受付開始は9：20～
4 開催場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階 大研修室 （水戸市千波町1918）
5 対象者	社会福祉施設・事業所に勤務している直接処遇職員等 【定員】96名 ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。（先着順）
6 受講料等	県社協会員1人あたり 3,000円（税込・資料代を含む） 県社協非会員1人あたり 5,000円（税込・資料代を含む） ※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、振込期限までに必ずお振込みください。
7 申込方法	研修システムにより、お申込ください。 ※申込された方は、申込締切後「承認通知」をメールで送付します。
8 申込期間	令和6年3月12日（火）～令和6年4月24日（水）まで
9 留意事項	① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、研修システムで変更してください。 ② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料に関するポリシーについて」をご確認ください。（代理の方の出席をお勧めします。） ③ 受講申込みに記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。 ④ 開催方法などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。 ⇒掲載場所⇒ <a href="https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/">茨城県社会福祉協議会研修システムページ</a> <a href="https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/">(https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/)</a> 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。 ⑤ 資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、資料等の無断転用は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。 ⑥ 昼食は自身でご用意ください。研修室内の飲食は可能です。
10 修了証	受講者は、研修アンケートを期限までに提出してください。 アンケート提出後、「研修システムマニュアル Ver10」のP32 もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照のうえ、修了証をダウンロードしてください。
11 問合せ先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部（仲田・大谷） TEL：029-244-3755 E-MAIL：kenshu@ibaraki-welfare.or.jp

## 研 修 日 程

【集合研修】 5月22日（水）

日 時	研修科目等	ねらい
9:20～ 9:50 9:50～10:00	受 付 開講／挨拶・オリエンテーション	
10:00～12:00	講義・演習 ・スピーチロックとは ・虐待行為と3つのロック ・義務化された「パワハラ防止法」の理解 ・スピーチロックとは ・スピーチロック概要と背景 ・言葉の洗い出しワーク	スピーチロックを理解する。自身の現状を振り返る。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	ー午前中の続きー ・言語表現力を養う ・起こり得る4つの要因とは ・スピーチロックの真の原因はヒューマンエラー ヒューマンエラーの種類 ・スピーチロック防止 4つの視点 アセスメント（評価基準）、エラープループ ・演習「ことばの改善」 ・演習「ケーススタディ」 ・まとめ	スピーチロックを理解し、自身の意識を変え、実践することができる。
16:00	閉 講	

※研修内容は予定であり、変更する場合があります。予めご了承ください。

### 【講 師】

#### 株式会社はあもにい 代表取締役社長 大野 晴己 氏

SBS静岡放送退社後、1991年はあもにい創業、1997年法人化。2000年愛知県岡崎市コミュニティFM局、(株)エフエム岡崎の立ち上げ、株主・取締役を16年間兼任。大学院でMOT（技術経営）を習得。パフォーマンス心理士として表現技術を専門に「人財共育」に取り組む。

2017年には、「採用育成サポート協同組合」を設立、理事長に就任。官公庁・行政団体、企業のコンサルティングとして「ヒューマンエラー」「クレーム」「メンタルヘルス」のほか、製造業・建設業では、「技能伝承」「作業効率」「5S改善」に取り組む。また、大学の教壇にも立つ傍ら、警察の雑踏警備「DJポリス」の研修をしたことがきっかけで、全国から「虐待防止研修」の依頼が殺到する。研修・講演会など年間500回の実績。

### 【配布資料と研修後のアンケート提出】

配布資料	研修資料は当日配布します。 ※他者へ資料を転送しないようにお願いします。
アンケート (レポート)	<u>受講した職員IDとパスワードで研修システムにログインし、回答してください。</u> 「研修システムマニュアルVer10」のP32もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照してください。 修了証を希望する方は、6月1日（土）までに、アンケートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行ができませんので予めご了承ください。